

# 発言通告書（総括表）

## 令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	嶋崎議員 (自民)	障害児ケアプランについて	<p>1、医療関係をはじめ、学校や保健福祉部の窓口等横断的に連携と相談体制はどのようになっているのか</p> <p>2、発達障害児（軽度）はさくらキッズで対応しているが重度の障害児を持つ親へのサービスはどのようになっているのか対策が必要ではないか</p> <p>3、妊娠期から18歳まで切れ目のない対応が必要で親亡き後の自立の対策はどのようになっているのか</p> <p>4、今年度障害児ケアプランの現時点での取り組み状況と今後の見込み（詳細に）について伺う</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
2	永田議員 (自民)	<p>風評被害対応について</p> <p>街路樹管理について</p>	<p>発災後の風評による被害が復旧、復興の妨げとなっている。平時より防災、減災の一環としての風評対策を求める。</p> <p>街路樹管理は景観だけでなく安全対策も重要である。台風15号の暴風によって多数の倒木被害が出ている。安全の視点からの街路樹管理について本区の方針を問う。</p>	区 長 関 係 理 事 者
3	内田議員 (自民)	<p>1. 都市特性評価について</p> <p>2. 基金について</p>	<p>①千代田区独自の都市特性とは</p> <p>②都市特性評価を都市政策に活用すべき</p> <p>①基金残高と適正規模について</p> <p>②基金の再編成後の活用と活用基準は</p> <p>③災害対策基金の拡充を求める</p>	区 長 関 係 理 事 者
4	河合議員 (自民)	千代田区のギフテッド教育の現状と方向性、今後の本区における取り組み方針を問う。	千代田区におけるギフテッド教育の現状、教育研究所や白鳥教室での対応と役割、今後の方向性、また、将来に向けて本区としての戦略的な取り組みなど、本区の考え方を問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	大串議員 (公明)	<p>1. 幼児教育・保育の無償化にあたって</p> <p>2. 基幹系システムの更新について</p>	<p>1) 区はどのような幼児教育・保育を展開しようとしているのか、基本的な考え方を問う。この度の無償化を機に、区の目指す幼児教育・保育の考え方、あり方を広く区民と共有してはどうか。</p> <p>2) 乳幼児の保育と教育について、区として果たすべき役割は。あくまで区の役割としては、児童福祉法第24条第1項、市町村の保育の実施を基本とすべきと考える。区（子ども部また教育委員会）の見解を問う。</p> <p>3) 乳幼児の教育・保育の質の確保と向上について</p> <p>①乳幼児の保育と教育の質とは何を指すのか。また、次世代育成支援計画（子ども・子育て支援事業計画）の更新と合わせて「就学前プログラム」を更新してはどうか。</p> <p>②乳幼児への保育と教育の一体的な提供について、区の考え方を問う。また今後の方向性は。</p> <p>③子育て支援員の役割と今後の配置は。</p> <p>1) 基幹系システムの更新について、その概要と今後のスケジュールは。</p> <p>2) 千代田区では、平成14年3月に千代田区情報化指針を策定したが、その後、ICT環境の変化や技術の大幅な向上、そしてマイナンバー制度など国の制度も大きく変化した。そこで、改めて区の基本的な考え方としての千代田区情報化指針の更新を提案する。所見は。</p> <p>3) 基幹系システムの更新となれば全庁一丸となって進める必要がある。そこで「基幹系システム更新実施計画書」の策定を提案する。所見は。</p> <p>4) RFP作成支援について</p> <p>RFP作成について、どうしても支援が必要な場合、どう支援を進めるのか。また、その際の注意点は。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
6	小枝議員 (声)	<p>1、マンション再生支援策拡充の必要性・緊急性について</p> <p>2、地域別まちづくり意見交換会の必要性について</p> <p>3、屋上菜園の検証と推進について</p>	<p>①千代田区では、マンション戸数が増え続け、更新するには2倍前後の容積が必要になります。マンション増を促進している背景は何。すでにマンションの量的拡大に限界がきていること、小学校さえもパンクしていることについて認識は。</p> <p>②これに対し何らか有効な手立てを講じる必要性の認識は。あるとすればどのような方法が考えられるか。</p> <p>③容積緩和型建替え以外の選択肢も必要。代替策として、リノベーションによるマンション再生への誘導策を講じるお考えは。</p> <p>④区内民間マンションを必要数借り上げ、リノベーション再生を行おうとする方々に「仮住まい提供」を行なってはどうか。</p> <p>⑤容積率の消化状況により、土地にかかる固定資産税を軽減するよう、東京都、関係機関に働きかけてはどうか。他</p>	区 長 関係 理事 者
7	長谷川議員 (紡ぐ会)	<p>・千代田区で排出されるごみの回収・廃棄物処分について</p> <p>・ちよだみらいプロジェクトの施設整備計画、万世会館・清掃事務所機能更新のための施設整備について</p>	<p>・「あおぞらふれあい相談・回収」の定期的実施</p> <p>・最終処分場である埋立地が利用できなくなった時に備え、千代田区におけるごみ処分の現状と未来の取組みについて</p> <p>・自然災害時の廃棄物一時置き場について</p> <p>・施設整備のために業務を止めることができない、万世会館と清掃事務所の利便性向上と機能更新のための施設整備について、ちよだみらいプロジェクトの進捗状況と、今後の見通しを問う</p>	区 長 関係 理事 者
8	うがい議員 (自民)	<p>道路や歩道の機能更新 安全利用と高度利用について</p>	<p>・道路および歩道の沈下、陥没、隆起による変形が見逃されている</p> <p>・交通利用の変化に合わせた空間再配分</p> <p>・コミュニティ醸成における歩道、道路といったランドレベルの重要性</p>	区 長 関係 理事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
9	池田議員 (自民)	・食品ロスに対する千代田の 取り組み	・食品ロス削減推進法が成立、本区の取り組みは進んでいるのか。 ・学校給食を含め教育委員会での方針は。 ・飲食店向けに食品ロス削減に協力を求めるような働きかけを。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
10	西岡議員 (自民)	災害時に於ける対応について	・防災備蓄 ・女性、子供への災害対応について ・ハザードマップについて	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
11	桜井議員 (自民)	○千代田区役所本庁舎の PFI 事業について  ○選挙における事務効率化に ついて	○本区はどのような経緯をもって国と共に PFI 事業を進めてきたのか  ○来年度末を期限として PFI 事業による維持管理業務を行ってきた成果はどうであったのか。  ○国との合築や SPG との運営など開設当初からの課題についてはどうであったのか  ○PFI 事業終了後についてはどのような対応をとっていくのか  ○千代田区が行っている選挙システムの課題と認識について  ○従来の入場整理券との符合に代えて、バーコードを活用したシステムの導入をしてはどうか  ○投票率の向上のために投票結果をどのように分析するか  ○国が示す電子投票について区の見解を問う	区 長 関 係 理 事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
12	たかざわ議員 (自民)	1 本区における「地域ケアシステム」の進捗状況はいかに  2 地方によって行政では対応できない課題に苦慮している現状がある。本区も対応を考える必要があると思うがいかに	区内の病院から在宅介護に移行した際、訪問看護から訪問診療、薬局に至るまで他区からの業者が担当している事例がある。かがやきプラザ(高齢者サポートセンター)建設時に、目玉とされた訪問看護ステーションは区内事業者を圧迫するという理由から断念したとの説明があった。本区の地域包括ケアシステムは広域連携となっているのか。本区の現状を問う。  各地でゴミ屋敷・空き家問題・餌やりなど条例がないために各課題に対応ができず、近隣の不満や苦情がたまっている。本区では表面化こそしていないが、課題解決の対応を考えておくべきだと思うが、区の方考え方を問う。	区 長 関係 理事 者
13	岩田議員 (立民)	学校における動物飼育について  プラスチックごみについて	動物虐待ではないかとの意見がある中でもなお、学校で動物を飼育する意義と今後の区の対応について  世界規模の課題であるプラスチックごみ問題。区として何か出来る事は。	区 長 教 育 長 関係 理事 者
14	牛尾議員 (共産)	消費税増税と零細業者、個人商店への支援について    住宅施策について	①消費税の10%への引上げは区民のくらしのみならず、区内の零細業者や個人商店にも大きな負担。増税の影響を区長はどのように思っているのか、認識を聞く。  ②消費不況が続く中、苦境に立たされている零細業者や個人商店の声を区が聞くことを求める。  ③地域のコミュニティの支え手である商店への支援の強化を求める。  ①高齢者が心配や不安なく住み続けられるように住宅への支援の拡充などを求める。  ②公共住宅について、入居時の「連帯保証人」の規定を無くすことなどを求める。	区 長 教 育 長 関係 理事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和元年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
15	飯島議員 (共産)	投票率向上のために	民主主義の根幹である選挙の投票率が低くなるばかりで危惧される。 選挙管理委員会をはじめ、区、教育委員会などが、政治的リテラシーを育成する取り組みを年齢に応じて行うことを求める。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
16	小野議員 (都ファ)	1、東京2020大会レガシーとして、千代田区役所内における働き方改革の推進を  2、区の計画、情報などを区民に広く知られるような工夫を	東京2020開催期間中の移動人口大幅増を見込み、スムーズビズが推進されている。これを機に東京2020大会以降も継続可能な働き方改革を推進する企業、官公庁が増えているが千代田区役所の方向性はどうか。  区民の方から寄せられる声に、それはいつ決まったのか？なぜ事前に知らされないのか？などご意見がある。具体が決定するまでの大まかなプロセスの開示、該当する近隣住民への情報提供のタイミングや手段など工夫が必要ではないかと考えるがどうか。	区 長 関 係 理 事 者
17	岩佐議員 (立憲)	1. アプリを活用したコミュニケーション支援について  2. プライバシーに配慮した行政窓口について	音声を認識し、文字化するアプリが注目を浴びている。インクルージョン推進のためのツールとして、活用してはどうか。	区 長 関 係 理 事 者
18	はやお議員 (自民)	1. 医療・介護の確保に向けた取り組み状況について  2. 本区における医療と介護の連携のあり方及び今後の方向性について	団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、地域医療構想のもと医療・介護機能の再編が進められている。そこで、本区におけるその取り組みについて問う。 (1) 地域医療計画を踏まえた本区の役割 (2) 医療・介護の確保に関する本区の将来像と現状・課題  地域包括ケアシステムは、住み慣れたまちでの安心した暮らしを目指し、医療と介護の連携を円滑にする取り組みである。本区における地域の医療及び介護の総合的な確保に向けた取り組みを踏まえ、以下について問う。 (1) 在宅医療等の充実に向けた取り組みの必要性（量的・質的） (2) 医療・介護を確保していくための今後の方向性	区 長 関 係 理 事 者